

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
高千穂町	水道事業	—	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営 体制を継続 ●
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	地方独立 行政法人 への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

- ・今のところ現行の経営体制・手法で健全な事業運営が実施できている。
- ・給水人口の減による給水収益の減少や施設の老朽化に伴う更新需要費の増大など将来的な課題を鑑み、令和5年度には、令和3年度策定の「高千穂町水道事業ビジョン(経営戦略)」を基軸に、「水道料金適正化計画」の策定とそれに基づいた「水道料金の改定」及び今後の施設更新を円滑に実施するための「管路更新計画」の策定を行った。これから継続的に実施されていくことになる施設の更新による収支の変動に注意しながら、効率的で安定した経営体制が継続できるよう検討・協議を重ねていく。

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
高千穂町	下水道事業	公共下水道	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営 体制を継続
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	地方独立 行政法人 への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

本町下水道事業においては、地形的に広域化は困難であり、人口減とともに処理量も減る想定であるため、経営戦略としても維持管理が主な取り組みとなっている。民間活用については、現在も財源として繰入金によるところが大きく、適正な料金で収益を上げ事業を維持することは厳しい状況にあり、実行は難しい。整備計画についても既に完了している。標記の改革に取り組むことより、維持管理を主とした経営戦略を策定更新し、現行の経営体制・手法を継続した方がよいと考える。

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
高千穂町	簡易水道事業	—	

実施状況

抜本的な改革の取組							<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; margin: 0 auto;"> 現行の経営体制を継続 ● </div>
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

町内に散在する事業の経営統合及び地方公営企業法の適用への作業中であり、抜本的な改革については検討の前々段階であるが、地理的な条件等によりその実施は困難であると思われる。まずは、上水道事業との経営統合を視野に諸般の課題に対して取り組んでいく。

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
高千穂町	電気事業	—	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営 体制を継続 ●
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	地方独立 行政法人 への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

売電収入は最大でも1300万円程度と比較的少額である。
必要経費は売電収入から十分賄うことができ、残りは基金に積み立てている。